

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】



|                 |                                                                                             |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別  | 事故                                                                                          |
| 2. 体験した事例の名称    | 山岳救助訓練のため、林道（舗装されていない）を車両で走行中、深さ約20cmの段差を乗り越えようとした際、車体下部が路面に接触し、ミッションオイルが漏えいしたため走行不能になったもの。 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | 劣悪な道路状況であったが、以前から走行している林道であったため、今回も行けるだろうという、慣れや油断による危険予知不足。                                |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 段差を走行する際の慣れや油断により、注意力が低下していたため発生したもの。                                                       |

【体験した事例の直接的原因について】



|                  |  |
|------------------|--|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 |  |
|------------------|--|

【体験した事例について】



|                                  |                                    |
|----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 発生日時                          | 平成28年7月17日 午前7時頃                   |
| 2. 発生した当時の天候                     | 晴れ                                 |
| 3. 発生した活動現場                      | 屋外：舗装されていない林道                      |
| 4. 体験した事例の種類                     |                                    |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）  |                                    |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）     | その他：車両の走行不能。                       |
| 7. 事例体験時の活動                      | 演習訓練、[ その他：山岳救助訓練のため、訓練現場に向かう途上。 ] |
| 8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか         | その他：山岳救助訓練のため、訓練現場に向かう途上。          |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 |                                    |

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

|                   |                                                 |
|-------------------|-------------------------------------------------|
| ○その他(当事者が4人以上の場合) | 当事者 年齢20歳 勤続・現場経験2年 階級:消防士<br>同様の活動:1年に数度 任務:隊員 |
|-------------------|-------------------------------------------------|

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

|      | 誰が <sup>6</sup> (何が <sup>8</sup> ) | なにをした                  | その他・備考など |
|------|------------------------------------|------------------------|----------|
| 経過1  | A、B、C、D                            | 訓練現場に向け出向。             |          |
| 経過2  | A、B、C、D                            | 林道に入り、大きな段差を乗り越えようとした。 |          |
| 経過3  | A、B、C、D                            | 車体下部を地面に接触させた。         |          |
| 経過4  | A、B、C、D                            | オイルが漏洩し、走行不能になった。      |          |
| 経過5  |                                    |                        |          |
| 経過6  |                                    |                        |          |
| 経過7  |                                    |                        |          |
| 経過8  |                                    |                        |          |
| 経過9  |                                    |                        |          |
| 経過10 |                                    |                        |          |
| 経過11 |                                    |                        |          |
| 経過12 |                                    |                        |          |

[illegible]

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | いいえ |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | はい  |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい  |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい  |

d. 心身の不調があった。

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                      |     |
|----------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。    | いいえ |
| ・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。  | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。   | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。 | はい  |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった(寒かった)。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が踏いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。) | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

|  |
|--|
|  |
|--|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

今回は訓練出向途上での事故であったが、実災害であったら現場へ到着できなくなっていた。  
同様の事案を防ぐため、悪路での走行は車両にどんな影響を与えるか、全隊員で共通認識を持ち、全隊員で安全確認を確実に行う。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について